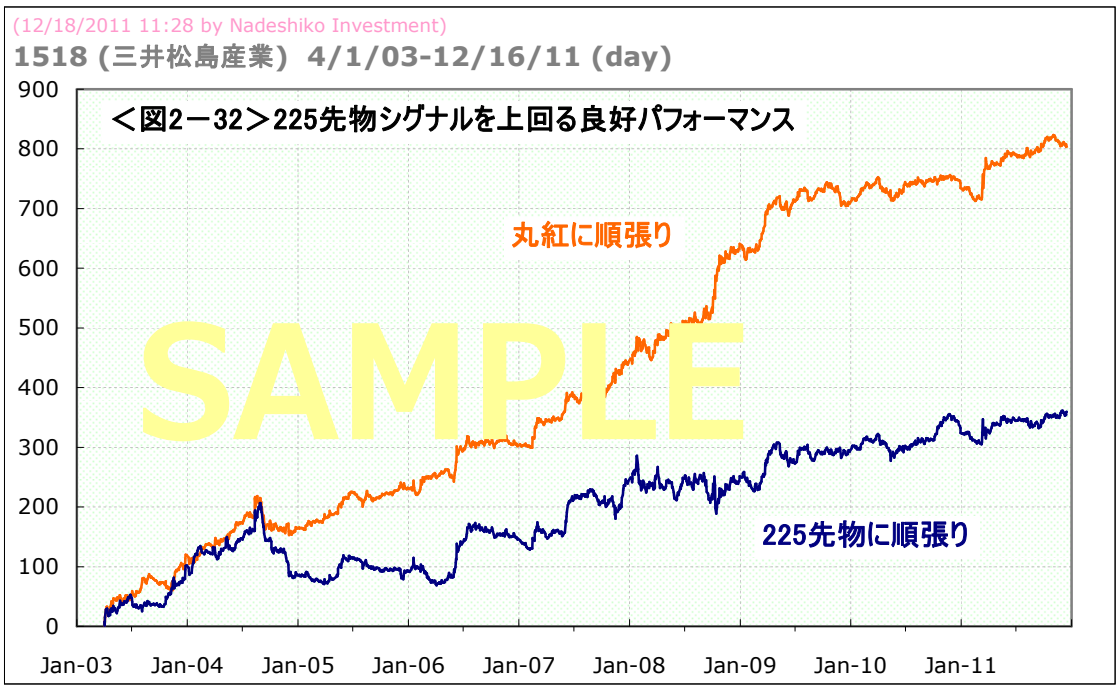
≫≫≫関連業種からシグナルにする銘柄を探す手もある

もちろん、低位株ならどの銘柄でも 225 先物シグナルに順張り売買が奏功するわけではありません。また、パフォーマンスの推移は右肩上がりで、それなりに有効そうではあっても、その推移が不安定なものもあります。

225 先物シグナルが今ひとつ効果的でない、あるいは、パフォーマンスが不安定だという場合、関連がありそうな業種を当たってみるのも手です。



三井松島産業（1518）の場合、225 先物シグナルに順張り売買もパフォーマンス水準的にはそう悪くもありません。ただ、推移が不安定です。

この銘柄、セクターは鉱業ですが、値動きの相関性（前日比上昇下落率の相関性）が高い銘柄を調べてみると、同業者のほかに大手商社が目につきました。おそらく、コモディティーつながりでしょう。

中でも、最も相関性の高かったのが丸紅（8002）です。そこで、丸紅が前日比上昇ならば大引けで三井松島をロング、丸紅が前日比下落ならば大引けで三井松島をショートという順張り売買を検証してみたところが、このようなすごい結果が出てきました。09 年途中から 11 年にかけて伸び悩んだ時期はありましたが、足元のパフォーマンスは右肩上がりのトレンド再開といったところでしょう。

SAMPLE

＜表2-1＞三井松島産業の値動き高相関銘柄

コード	銘柄名
3315	日本コークス工業
1514	住石ホールディングス
8835	太平洋興発
8002	丸紅
8058	三菱商事
2768	双日
8031	三井物産
8053	住友商事
5406	神戸製鋼所
9938	住金物産
8001	伊藤忠商事
5711	三菱マテリアル
5401	新日本製鐵

SAMPLE

三井松島と値動きの相関性の高い銘柄は表２－１のような顔ぶれです。丸紅以外の大手商社の前日比上昇下落をシグナルにした場合も、概ね良好なパフォーマンスを描きました。

なお、この相関性は、「(表にある銘柄の)『今日』の上昇下落率と、三井松島の『今日』の上昇下落率との関係を調べています。大手商社をシグナルにした順張り売買が有効だということは、「大手商社の『今日』の上昇下落と、三井松島の『明日』の上昇下落」との間にも正相関の関係があることを意味します。

ちなみに、上位の同業３銘柄には、業態が近いために同じ日に同じように動いている部分が大きいせいか、「今日」の同業態銘柄の値動きと、「明日」の三井松島の値動きとの間にはさほど強い相関性は見られませんでした。

SAMPLE

≫≫≫同業が見当たらないなら“低位株仲間”を調べる

三井松島のケースでは、コモディティー関連ということで関連業種の目星がつけやすい面がありましたが、同業が見当たらない、関連業種もはっきりしない銘柄もあります。そうした銘柄の値動きの高相関銘柄を調べてみると、全く業種・業態に関連性のない銘柄ばかりが上位に名を連ねることもしばしばです。

表２－２は兼松日産農林（7961）の値動き相関の高い銘柄です。香ばしいというか、仕手的低位株がズラリと並びます。